

# オオカミの友だち (p. 4~9)

## ◆◆ 語句 ◆◆

### 意味

とつさ…さし迫った状況で反射的に対応する様子。

獲物…狩りや漁で手に入れた(手に入れようとしている) 動物。

## 類義語

用心Ⅱ 例注意、警戒

## ◆◆ 読解 ◆◆

### ステップ1

- 1 ① こいつ、いったいどういうやつなんだ。  
② うーむ。ちよつとならつき合ってみるか。  
③ うふつ、こいつっておかしなやつ!
- 2 ① ウ ② ア ③ イ ④ オ ⑤ エ

### 【場面1】

1 イ

- 2 ① 獲物 ② 横取り ③ 用心

3 例クマに食べられてしまうのではないかという不安な気持ち。

### 【場面2】

1 ① 例蜂の巣を木から落とすこと。

② 例オレに襲いかかるつもりだな。

2 ウ

### 【場面3】

1 ア、エ ※順不同可。

2 ① 後ろに手をまわしていた

② 蜂にお尻を刺されて

3 例クマへの疑いが晴れると、親しみを感じ、二人でいることが楽しくなってきたから。

### ステップ3

1 例クマと協力して魚を捕ったときのことや、一緒に魚を食べたときの楽しさを思い出すから。

2 2 3 5 1 4

3 例オオカミの「一人がいちばん気楽でいい。」という、孤独を愛する性格は変わっていない。しかし、二人で食べた魚の味が懐かしくなるというのは、人と協力することの喜びや意味を知ったからだろう。その点が、以前と変わった点だ。

## 物語を音読してみよう



「オオカミの友だち」には、オオカミとクマの「せりふ」や「心の中のことば」がたくさん出てくるね。それぞれ、どんな気持ちで言ったり思ったりしているのかな？

登場人物の気持ちを考えながら音読してみよう。

- ・ 声の大きさ
- ・ 声の明るさ
- ・ 読む速さ

など、心情に合わせて工夫しながら音読することで、登場人物の気持ちへの理解が深まるよ。